

Eco フレンド

Vol.2

【発行】平成13年11月
富山県警井協会
〒930-0892 富山県新庄町一丁目十九番号
☎(076)441-4257
Fax (076)441-4287
URL: <http://www.atw.ne.jp/tomtsaku/>
E-mail: tomtsaku@atw.ne.jp

第一回安全大会開催

第一回安全大会が平成13年8月3日(金)午後1時20分より富山問屋センター富山流通会館において協会員20名、賛助会員8名、協力企業4名の総勢32名が参加し、開催された。写真。

建設業界において、夏期の暑い環境下での作業の災害防止を呼びかけることを目的に富山労働基準監督署次長北河高志氏より近年における災害の発生状況及び原因、またそれらに対する対策について説明があった。また今年に入って続発した『熱中症』の予防や対策、手当てについても説明があった。

富山県企画用地課技術管理副係長倉田清氏より公共工事を建設するための適正な施工及び技術水準の確保について説明があった。

また、協会で取り上げている産業廃棄物についての説明もあり、今後意見交換を

困、またそれらに対する対策について説明があった。また今年に入って続発した『熱中症』の予防や対策、手当てについても説明があった。

富山県企画用地課技術管理副係長倉田清氏より公共工事を建設するための適正な施工及び技術水準の確保について説明があった。

また、協会で取り上げている産業廃棄物についての説明もあり、今後意見交換を

させていただくことになった。

富山県森林審議会会長をはじめ各種多方面で活躍中の長井真隆先生(写真)

より富山の恵まれた環境や水と人間社会との関わり、山頂に育む植物の生きる知恵や海域における魚の生態について、講演を頂いた。

『安全衛生一般』
講師 富山労働基準監督署 次長 北河高志氏
『施工管理にあたっての留意点』
講師 富山県土木部企画用地課 技術管理 副係長 倉田清氏
『水の循環と富山の自然』
講師 富山県森林審議会会長 元富山大学教育学部教授 長井真隆氏



第一回安全大会において講演を聴く参加者たち。富山問屋センター。



水の循環と富山の自然をテーマに講演される長井真隆先生。

地下水の環境に配慮した確かなコンサルティング『エコプロジェクト』

技術講習会

産業廃棄物処理講習会

産業廃棄物処理講習会が7月4日(水)午前10時30分より富山問屋センター富山流通会館で開催された。当日は協会員12名及び関係賛助会員3名が参加し、当協会賛助会員のアール・タチバナ(株)専務取締役細野恭孝氏(写真中央)を講師に向かえ『産業廃棄物処理の基準について』をテーマに、建設現場から排出された物質が産業廃棄物と呼ばれるまでの過程及びその種類やその他関係法規などについて講演を頂いた。

また、講習会後半の質疑応答では参加者からの質問に対して、実例をもとに説明があり、知識を深めた。

なお、この講習会終了後には資料を取りまとめ、富山県庁及び国土交通省をはじめ県内土木事務所すべてを訪問し、関係担当者ととの意見交換を行いご指導を承った。引き続き企画用地課と産業廃棄物処理及びリサイクルに向けた技術について継続して検討している。

訪問先は国土交通省、富山県企画用地課、8土木事務所。



『産業廃棄物処理の基準について』をテーマに講習を受ける現場管理者及び責任者たち。富山問屋センター富山流通会館。

技術講習会開催

技術講習会が平成13年11月15日(木)午後2時より富山問屋センター富山流通会館において協会員15名が参加し開催された。

当日は(株)ナガオカよりスクリーンの技術説明として管理方法及び基本的構造等について説明があった。また、技術顧問の古賀輝彦氏による深井戸におけるトラブルや管理方法などについて体験を交えた講演があった。

さく井工事積算PC講座開催

さく井工事積算PC講座が平成13年7月17日(火)午前9時より職業訓練法人ガス事業人材開発北陸エネルギー技術工学院で開催された。当日は、8名の参加があり、講師は当協会技術部会長上田勝実氏で、表計算ソフトを利用し見積書や工事データ処理等の積算書作成について説明があった。



講義を受ける参加者。写真。

「井戸の日」普及事業開催決定
2002年1月10日

平成14年1月10日(木)第2回「井戸の日」を開催いたします。詳細については後日ご案内いたします。

【井戸110番】(井戸のある暮らしをいつまでも)
井戸は大切に使い、時代を超えておいしい水をもちたしてくれ。いつまでも快適に安心してお使いいただくには、ポンプやパイプなどの定期検診が必要です。トラブルの早期発見と早期ケアに最新の「井カメラ」が活躍しています。

井戸に関するご相談・お問い合わせは
富山県鑿井協会
井戸110番 ☎(076)441-4257まで
また、E-mailでも受け付けております。
E-mail: tomisaku@atw.ne.jpまで
井戸のプロ、鑿井技術士・技術者たちがお答えいたします。お気軽にご相談ください



1月10日は「井戸の日」

富山県鑿井協会では経験豊富なく井技師たちがどのような質問・相談にもお応えいたします。

(社)全国鑿井協会北陸支部情報

平成13年度(出)全国鑿井協会臨時総会開催

(出)全国鑿井協会臨時総会が平成13年10月19日(金)に高知県高知市高知新飯急ホテルにて開催された。
当日は委任出席を含め総勢330社の出席があった。臨時総会では5件の議案について審議が行われ、原案通り議決承認された。

平成13年度地下水資料調査業務実施

(出)全国鑿井協会では国土交通省よりの依頼で、平成13年度深井戸調査を全国的に実施することになった。これにつき北陸支部では平成13年度に予備調査を実施し、平成14年度には本調査を実施することになった。

『地下水の源を訪ねて』

IN有峰湖

レクリエーション事業「地下水の源を訪ねて」が平成13年10月21日(日)に有峰にて、開催された。ブナや白樺の森に囲まれた美しい水をたたえた有峰湖。薬師岳西麓、標高一〇〇mにある有峰湖は有峰ダム建設に伴い常願寺川支流の和田川にある幾つかの沢をせき止めてできた人造湖です。今回の事業により豊富な地下水の源に育まれた恵みの再発見となりました。

当日は大人14名、子供有峰の大自然の中、5名の計19名の参加があつた。有峰のすばらしい紅葉を写真に撮り、葉で目と頭のリフレッシングをし、きのこ狩りにおける体力強化、そして体の中まで健康になりそうなお鍋料理。参加者にとつてこの日はとても保養された1日となったこととしよう。次回もまたこのような家族、従業員を交えたイベントを考えていきたいと思ひます。



富山鑿井協会意見交換会開催

平成13年11月16日午後5時30分より富山第一ホテルにて協会員19名、賛助会員8名、協力企業1名が参加し、意見交換会が開催された。

《お知らせ》

- 第3回TSAG杯において賛助会員の方よりお志を頂き、誠にありがとうございました。
・(株)柿本商会富山支店
・ジョンソン フィルトレーション システムズ ジャパン(株)
・米原商事(株)高岡営業所
・(株)利根金沢営業所
- 平成14年2月に当協会賛助会員(株)柿本商会富山支店様のご協力を得、冬期に向けた消雪機械設備の点検講習会を開催いたします。詳細は後日ご案内いたします。

編集後記

今号で掲載した事業の開催につきまして、お忙しい中をご足労頂きました講師の皆様には厚く御礼申し上げます。事業閉会後には、報告会、勉強会を相次いで開き、さく井業界全体の発展のため参考にさせていただいております。(総務編集部)

総務部会たより

新世紀の始まりの2001年、富山県鑿井協会総務部会も水の世紀といわれるこの節目を期に「エコフレンド」の発行、安全衛生大会を行い、富山の恵まれた自然と、この地に安住をもとめる富山県民と地下水との関わりを考えるとき、「すべての生物の生存に深い関わりを持つ地下水について正しい認識を深め、その利用と保全の調和をはかりながら豊かにして清らかな地下水を、子々孫々まで残すことを目的とする。」地下水憲章を尊重し、開発と活用に関わるプロフェッショナルとしての協会員の役割をさらに重視し進めていくための努力を続けていかなければならない。関係諸兄のご支援、御協力を願ってやまない。

技術部会たより

今年度の活動計画の柱でありました、ホームページを10月26日に立ち上げました。内容の充実度は今ひとつですが、今後、色々な情報を加え、太らせていきたいと思っております。多くの方々がアクセスし、評していただければ良いものになると思ひますので、ご協力のほどをよろしくお願ひいたします。私の個人的構想では、動画を使ったページも作りたと思っております。今後の技術部会の活動予定は、「ポンプ系のメンテナンスの講習」を予定しておりますので、今後とも会員の方々の参加をお願いいたします。

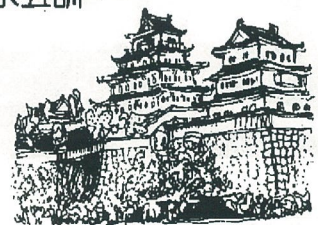
協会ホームページ開設

当協会ホームページが完成し、平成13年11月5日に公開された。この度のホームページ開設を機に私たちの活動を広く全国に伝えたい、そして鑿井業とは何であるか、どうあるべきかを考える行動に遷したと思ひます。建設業界の苦しみと同様に、各社が競争社会への転換の苦しみ、痛みを感じております。鑿井業の危機を訴え、この状況を打開したいという志を共にする仲間が当協会に集まりました。メンバーそれぞれが切磋琢磨し、研鑽をつむことによって、明日ある鑿井業へと未来を切り開きます。どうか私たちを見守ってください。

URL <http://www.atw.ne.jp/~tomisaku/>

水にまつわるいい話し

(株)柿本商会富山支店 取締役支店長 村中正広
豊臣時代の武将、黒田官兵衛孝高は智謀にたけ、秀吉の謀臣として知られています。ある時、秀吉に「天下を保てる英雄、豪傑はその方じゃ」と指摘され、身の危険を感じた孝高は直ちに仏門に入つて、如水、と号したという事です。そのころ物したといわれている「水五訓」は、まことに水の特性を言い得て人生の処制訓にも通ずる名言といえます。
参考資料
初級技術教育資料
「汎用ポンプ編より」



水五訓
一自ら活動して他を動かし、水は水なり。
二常に自己の進路を求め、止まらざる水なり。
三清き水に濁り、濁る水は清き水を得ず。
四自ら濁り、濁る水は清き水を得ず。
五濁りたる水は清き水を得ず。
六濁りたる水は清き水を得ず。
七濁りたる水は清き水を得ず。
八濁りたる水は清き水を得ず。
九濁りたる水は清き水を得ず。
十濁りたる水は清き水を得ず。